
小規模建築物の地盤調査法シンポジウム

「宅地の液状化判定のための地盤調査法」

小規模建築物地盤調査小委員会では、戸建住宅等の小規模な建築物を対象に実施可能な地盤調査方法について検討を行っている。東北地方太平洋沖地震では、東京湾岸地域や利根川流域の広い範囲で地盤の液状化が発生し、戸建住宅等に沈下や傾斜の被害が見られた。戸建住宅等の小規模な建築物では、スウェーデン式サウンディング試験を中心とした地盤調査が実施されているが、敷地の液状化の可能性については、簡便な検討に留まっていた。ここでは、戸建住宅等の住宅地に適用可能な各種の地盤調査方法について紹介するとともに、液状化判定方法やその適用性について現状を紹介する。

主催 構造委員会 基礎構造運営委員会 小規模建築物地盤調査小委員会

日時 2013年12月9日(月) 13:00~17:00

会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

プログラム

主旨説明 / 平出 務 ((独)建築研究所)

基調講演

(仮) 宅地の液状化に関する性能評価に向けて / 井上波彦 (国総研)

液状化判定のための地盤調査方法の主題解説

1. 各種地盤調査法の一斉試験による比較 / 大島昭彦 (大阪市立大学)
2. 宅地の液状化判定のための地下水位測定法および土質判別の簡易的手法 / 金 哲鎬 (報国エンジニアリング)
3. 三成分コーンによる液状化判定 / 高田 徹 (設計室ソイル)
4. ピエゾドライブコーン(PDC)による液状化判定 / 利藤房男 (応用地質)
5. 液状化被害の修復と地盤調査 / 伊奈 潔 (中央建鉄)
6. 近年提案されている簡易液状化判定法 / 松下克也 (ミサワホーム)

総合討論

司会 : 平出 務 (前掲)

まとめ / 酒匂教明 (日本大学)

* 講演・発表の題目は、変更になる場合があります。

定員 250名(申込先着順)

参加費 (資料代含む) 会員 4,000円、会員外 5,000円、学生 2,000円

申込方法 : Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=630> よりお申し込みください。

問合せ : 日本建築学会事務局 研究事業グループ 榎本

TEL : 03-3456-2057 E-mail : enomoto@aij.or.jp